



号外

平成24年4月25日発行

「消費税と 二大政党」

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
 大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
 零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
 日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。
 平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
 平成21年衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。
 現在、党政務調査会会長補佐・シャドウキャビネット(影の内閣)の
 総理補佐官として活動中。
 [趣味] 読書、カラオケ、ハンドボール
 [好きな食べ物] ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)
 〒270-0137 流山市市野谷665-40-103
 TEL: 04-7157-6223 FAX: 04-7157-6224
 E-mail : info@saito-ken.jp
 さいとう健 国会事務所
 〒100-8981
 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室
 TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221

消費税の議論、何とおろかな状況になっているのでしょうか？

消費税は全ての国民の皆さんの生活に直結する大きな課題です。国会議員の一員として、無力感を感じるとともに、情けない申し訳ない気持ちでおります。

ここに至るまで財政赤字を積み上げてきたのは、理由はあるにせよ、自民党政権下のことであります。その財政赤字を何とかしようということで、現政権が消費税の増税までやろうというのであれば、本来わが党は、積極的に協力するのが筋であります。

しかも、社会保障制度、とりわけ年金制度などは、政権が変わるごとに制度がコロコロ変わるようでは、国民の皆さんも将来設計の立てようがありません。

本来であれば、政権が変わっても安定した制度になるように、与党も野党もなく協力しながら年金制度などの社会保障制度を確定してゆくべきです。現に、北欧諸国などでは、そういう努力によって安定した社会保障制度が確立されてきました。

確かに、現政権が提案している税と社会保障の一体改革の中味は問題が多いし、段取りも悪すぎる。

これまで、「月刊さいとう健」で何度か具体的に指摘してきましたが、まず、肝心の社会保障改革が先送りになっており、しかもバラマキ傾向が強過ぎる。また、税の改革も消費税に偏っており、企業が海外に逃げてゆく原因になっている世界で最も高い法人税の改革などは全く不十分であります。さらには、国会議員や公務員の身を切る改革も不明瞭です。増税のタイミングについても熟慮が必要です。

しかし、消費税アップはいずれは避けて通れない。だとすれば、機運が高まっている今こそ、批判をするのではなく、与党と野党が協力しながら責任ある改革がなされなければならないし、そうでなければ、再び何年も問題は先送りとなるでしょう。

世界も見ています。

日本の政治は財政赤字問題を解決する能力がない、ということ的印象付けるようなことにならうものなら、日本国債に対する信認が揺らぐことにもなりかねません。そうなったとき、ツケを払わなければならないのは国民の皆さんです。

日本の政治のまさに正念場です。

ところが、現実の政治の現場では、党利党略によってこの重大問題が大きく引きずられています。日本の将来を見据えた真剣な議論が展開されているとは、さいとう健にはとても見えません。皆さんは、いかに感じておられますか？

(裏面に続く)



ときには演奏つきのミニ集会も。

(続き)

戦前の歴史は、貴重な教訓をわれわれに教えています。

1920年代の初頭に、それまで明治という時代を牽引してきた力量ある政治家たちが亡くなっていきます。その後訪れたのは、大正デモクラシーのかけ声の下、二大政党の時代でありました。政友会と民政党が政権交代を繰り返し、1920年代の後半には、何と7年間で6人の総理が交代しました。

時代は、世界大恐慌が起こり、中国をめぐる国際情勢が激動する、大変な時代でありました。そんなとき、かつての二大政党は、足の引っ張り合いを繰り返し、次第に国民の信を失っていきました。政党の体たらくは、維新を唱える軍への期待へと導き、1931年には満州事変、32年には5・15事件と日本は転落していきました。満州事変の際の若槻礼次郎総理は、台頭する軍を抑えるためには大連立政権で対抗するしかないと考えましたが、この試みも頓挫しました。

どうやら、二大政党というのは、果てしない足の引っ張り合いになるというのが、歴史の教訓のよう
あります。

われわれは、ここを何としても克服していかなければならない。

激しい論争を国会で繰り広げるのは当然のこととしても、一線を引いた節度あるやり取りというものを心がけていかなばなりません。あるいは、年金などの分野は休戦ゾーンとして、ここは与党と野党で協力して安定した制度を作り上げるとか、ものごとが進む一定のルール作りをしていかなばならないのではないのでしょうか。

ややもすれば、ルールなき殴り合いになる二大政党を、国民の皆さんが見るに耐える、正々堂々のスポーツのようになるように、日本の政治を変えていかなばなりません。さいとう健は、微力ではありますが力を尽くしていきたいと思っております。

まずは小さな努力ではありますが、国会の質問に立つとき、絶対に揚げ足をとらない、正論の直球で勝負をします、と宣言してから質問することにしております。ご関心のある方は、ぜひ、国会テレビなどで映像をご覧いただければ幸いです。



懐かしのけん玉に夢中。

大受け! さいとう健の直球質問!!

さいとう健のあげ足を取らない直球正論の国会質問が注目を集めています。全国中継される委員会だけでなく、放映されない委員会質問にもネットユーザーの関心を引いています。冒頭、直球予告をしてからの鋭い質問に、各閣僚もフルスイングで回答。新人さいとう健と政府与党との白熱した議論が話題を呼び、各ネット動画政治部門で次々にランクイン。インターネットから全ての質問がご覧になれますので、ぜひ皆様一度ご観戦ください。

- 1、インターネットで「衆議院TV」を検索。
- 2、発言者名に「齋藤健」を入力。(漢字表記に注意)
- 3、さいとう健は当選してから本日まですでに**27回**も質問に立っておりますが、その全てがご視聴になれます。

【おすすめ】

平成24年3月6日財務金融委員会 / 平成24年2月1日予算委員会
平成23年2月3日予算委員会 / 平成22年11月9日予算委員会

◆ニコニコ動画はこちら◆

H24/03/06 衆院財政金融委・齋藤健【政権取り戻したら全部やり直します!】
(61分14秒) <http://www.nicovideo.jp/watch/sm17170858>



「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構です。お問い合わせは後援会事務所まで。



「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざをつき合せて意見交換ができるミニ集会を、活動の原点としております。二人でも三人でも結構ですので、ぜひ企画してお呼びいただければ幸いです。

メルマガ **さいとう健**

名前・住所の登録不要。

月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。

返信すれば匿名で意見を伝えられます。

<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

やっぱり、この男に!